



研究者名※	澤田 美砂子	学位※	博士(学術)
所属※	家政学部 児童学科	職名※	准教授
連絡先	sawada@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0128333		
研究分野※	身体教育学、こども学		
研究キーワード※	感覚と運動発達学、運動・遊び、舞踊教育		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保育施設における「保育の質」確保のための物理的環境整備について(科学研究費・基盤C・研究分担者、2019～2021年) ・三次元動作解析による舞踊表現のダイナミズムの分析(科学研究費・若手B・研究代表者、2006～2007年) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・文京区文京アカデミア講座(座ってピラティス)講師(2018年) ・全国大学体育連合大学体育指導者養成研修会(ピラティス)講師(2018年) ・港区立幼稚園オリンピック・パラリンピック教育(こどもピラティス)講師(2016年) ・三越カルチャーサロン(座ってピラティス)講師(2015年) ・一般社団法人日本カートリッジリサイクル工業会定時総会講演会健康セミナー(チェアトレ)講師(2015年) 		
受賞歴			

研究領域	身体教育学、子ども学 感覚と運動発達学、運動・遊び	(SDGs)	
研究テーマ※	環境が子どもの運動遊びに及ぼす影響		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 子どもたちを取り巻く環境は、体力・運動能力に大きな影響を及ぼすことが明らかになっている。本研究では、国内大都市における保育所・子ども園について、施設の物的環境が子どもたちの運動遊びに及ぼす影響を明らかにすることを目的とした。国内大都市の保育所および子ども園(北九州市、福岡市、広島市、大阪市、神戸市、京都市、名古屋市、横浜市、川崎市、東京23区、千葉市、さいたま市、仙台市、札幌市、計1957園)へ調査用紙を郵送し、回答を依頼した。保育施設敷地内の屋外遊戯場面積や、園庭の地面の素材、大型遊具の設置状況や園庭に備えてある遊具等、屋外の運動遊びに関わる物的環境に関する複数の質問項目と、子どもたちの運動遊びの現状を問う質問項目について回答してもらった結果、子どもの運動遊びの充実(十分な環境・時間)には、園庭の広さや遊具の充実が影響を及ぼすことが示された。低年齢児を預かる保育施設では、園庭へのアクセスの良さが大切な要因でもあった。保育施設の環境の充実は、運動遊びが自由遊びの時間に展開されることにもつながり、子どもの育ちを支えるものになると考えられる。</p> <p>【応用例、研究の展望】 上記の研究成果より、園庭へのアクセスの良さが子どもたちの運動遊びを豊かにする大きな要因になっていることが示され、保育施設の今後益々の充実が望まれるが、特に大都市では園庭確保の困難さから、今後も接地性のないテラス型園庭等もさらに増加すると予想される。園庭へのアクセス条件が良くない場合に、物理的・人的な環境をどのように整えることで運動遊びの充実を担保できるか、子どもの運動を引き出す魅力的な環境とは何か。</p> <p>【研究方法の特色】 ・研究設備:三次元動作解析ソフトウェア、姿勢分析ソフトウェアを用いた分析が可能。</p>		
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・澤田 美砂子、五関-曾根 正江、定行 まり子、共著「国内大都市の保育施設における物的環境が子どもの運動遊びに与える影響」日本発育発達学会第18回大会、2020年 		
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 		